

平成20年度

決算報告書

第5期

国立大学法人 徳島大学

平成20年度 決算報告書

国立大学法人徳島大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	14,460	14,515	55	(注1)
施設整備費補助金	2,367	2,451	84	
補助金等収入	-	221	221	(注2)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	45	70	25	
自己収入	19,710	20,203	493	
授業料、入学料及び検定料収入	4,484	4,423	△ 61	(注3)
附属病院収入	14,839	15,313	474	(注4)
雑収入	387	467	80	(注5)
引当金取崩	-	5	5	
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	2,281	2,318	37	(注6)
長期借入金収入	2,378	2,378	0	
承継剰余金	-	0	0	
目的積立金取崩	-	241	241	
計	41,241	42,402	1,161	
支出				
業務費	29,878	29,449	△ 429	(注7)
教育研究経費	16,119	15,092	△ 1,027	
診療経費	13,759	14,357	598	
一般管理費	1,288	1,538	250	(注8)
施設整備費	4,790	4,899	109	
補助金等	-	217	217	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	2,281	2,022	△ 259	(注10)
長期借入金償還金	3,004	2,981	△ 23	
計	41,241	41,106	△ 135	
収入-支出	0	1,296	1,296	

○予算と決算の差異について

(注1) 予算段階では予定していなかった退職者数の増により、予算金額に比して決算金額が55百万円多額となっています。

(注2) 予算段階では予定していなかった国からの補助金の獲得に努めたため、予算金額に比して決算金額が221百万円多額となっています。

(注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、在籍学生数の減により、予算金額に比して決算金額が61百万円少額となっています。

(注4) 附属病院収入については、平均在院日数の短縮、診療単価の増等により予算金額に比して決算金額が474百万円多額となっています。

(注5) 雑収入については、主として特許料収入及び研究関連収入等により、予算金額に比して決算金額が80百万円多額となっています。

(注6) 予算段階では予定していなかった民間からの寄附金等により、予算金額に比して決算金額が37百万円多額となっています。

(注7) 業務費については、経費の節減に努めたため、予算金額に比して決算金額が429百万円少額となっています。

(注8) 一般管理費については、(注5)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が250百万円多額となっています。

(注9) (注2)に示した理由等により、予算金額に比して決算金額が217百万円多額となっています。

(注10) 産学連携等研究収入の減に伴う支出の減により、予算金額に比して決算金額が259百万円少額となっています。